

初めての定期考査でした!

昨日6月19日(水)に中学校入学後、初めての定期考査が行われました。本日から答案用紙が返却されますが、答案用紙から授業の受け方、家庭での予習・復習の仕方、自分の学習の仕方をもう一度振り返ってみることが大切です。

1 ケアレスミスはなかったか?

・・・問題の読み間違いや記入ミスはなかったか?

2 学習は十分だったか?

・・・示されたテスト範囲についての学習の時間・方法は十分だったか?

3 苦手な分野を解くことができたか?

・・・苦手な分野がどれくらい解けていただろうか? 解けなかったのはなぜだろうか?

4 得意な分野を解くことができただろうか?

・・・得意な分野を間違っただけはなぜだろうか?

5 次回のテストで気をつけることは何か?

・・・今後、何に気をつけて取り組んでいくべきか?



これまで学習した内容の理解度をチェックするのがテストの大きな目的のひとつです。つまり、一番大切なことは、「どこを間違えてしまったか」と「どうすればよかったのか」について、答案用紙をじっくり見直しながら考えることです。そして、自分の弱点を徹底的に克服することなのです。

今回、たとえ点数が悪かったとしても、同じ問題が出題されたときに正解できるようになれば、弱点を克服したことになります。「実力」をつけるとは、この積み重ねです。



次は・・・野外活動です!

野外活動のねらいは、「①集団活動に積極的に取り組み、生活の決まりなどを身につける。②集団活動から自立性・協調性を育てる。③他の人の良さを認め、切磋琢磨する」です。実行委員の生徒が決めた学年目標は、『自律・協力・笑顔』です。これらのねらいと目標の達成を目指すために、いろいろな活動プログラムを経験します。教室を離れた2日間で、活動を楽しみながら、多様な力を身につけてほしいと思います。

いよいよ野外活動です。いつも生活している家族のもとを離れて、友達や先生となかなか体験できないことをするのはとても楽しみだと思います。この2日間を通して、自分で考え行動すること、みんなと協力して活動すること、そしてみんなが楽しめるようにという思いから、「自律・協力・笑顔」をスローガンとしました。

活動を通して、自分や他の人にもプラスαになり、そして1学年全員の絆をより深めることができればよいと思います。また、野外活動を引率して下さる先生方や自然の家のスタッフ、すれ違った人にもあいさつや感謝の気持ちを忘れず、みんなで楽しく思い出に残る2日間にしましょう。

野外活動実行委員長 K. Y 君(「野外活動のしおり」より)

編集後記 いよいよ野外活動が来週に迫りました。旅先で病気になると、グループ・学級・そして学年全体の活動に支障をきたす場合があります。何事ですが、健康(バスト・コンディション)が一番大切です。